

# 鳥とりは恐竜きょうりゅうだっ方

鳥とりの巣すからみた進化しんかの物語ものがたり

作・絵 鈴木まもる

Alicekkan





## はじめ

世界中には、9000種以上の鳥がいます。

みんな巣をつくり、卵をうみ、ヒナを育てています。

巣をつくる場所は、地上、やぶの中、水辺などいろいろです。

木の穴の中に巣をつくる鳥もいれば、

木に自分で穴をあけて巣をつくる鳥もいます。

もちろん、たくさんの鳥が、木の枝に巣をつくれます。

ぼくは、たくさんある鳥の巣の中で、  
 キムネコウヨウジャクの巣を見たとき、  
 なぜかとてもあたたかいきもちになりました。  
 なぜ、キムネコウヨウジャクの巣は、  
 こんな形をしているのだろう？  
 ぼくはふしぎに思い、しらべることになりました。



## キムネコウヨウジャクの 巣との出会い

これが、キムネコウヨウジャクの巣。

ヤシの葉をあんだかごのような感じ。この鳥がすんでいる場所は、サルが多く、卵やヒナを食べられてしまうので、サルたちが近づけない細い枝先に、ぶらさげるように巣をつくります。



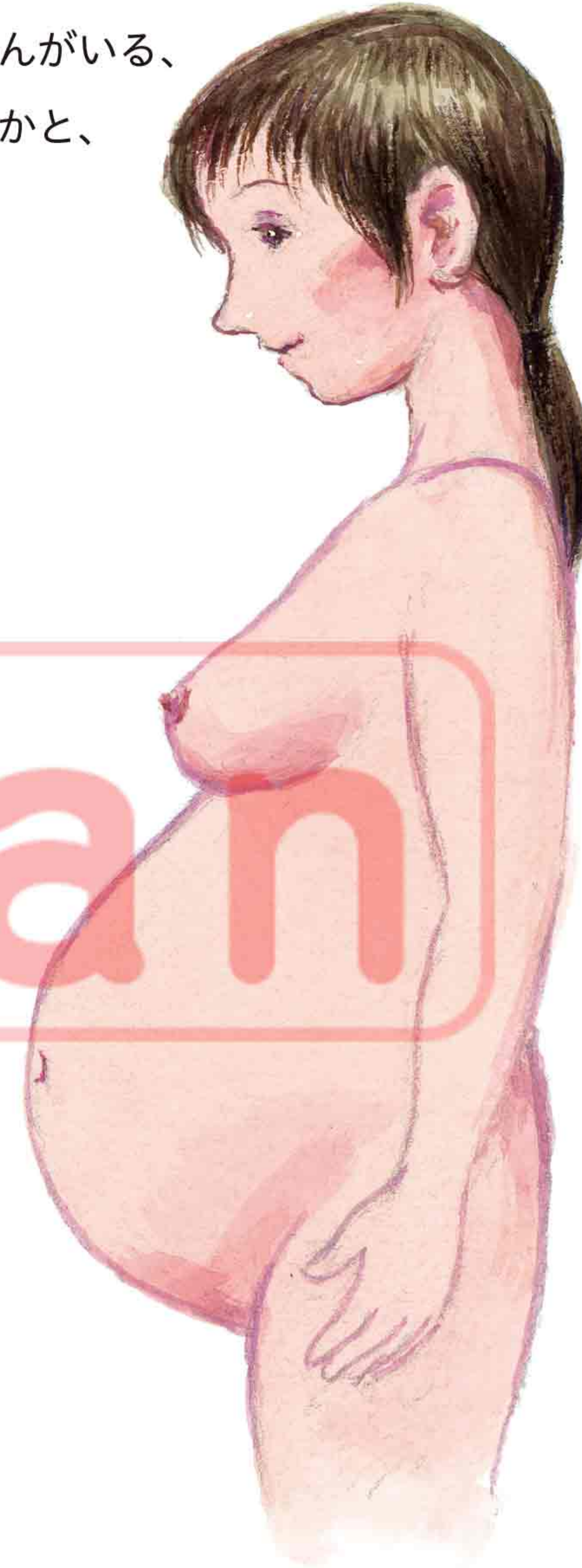
中は、こうなっています。まあるところが部屋になっていて、卵やヒナが育つ場所です。下にのびた通路から、親鳥がエサをはこび、飛べるようになったヒナは、ここから巣立っていきます。



この形、なにかににいていませんか？



おなかに赤ちゃんがいる、お母さんのおなかと、そっくりです。



お母さんのおなかの中はこうなっています。赤ちゃんは、お母さんとおへそでつながっていて、そこから栄養をもらっています。外で生きられるまで成長すると、生まれてきます。



どうして、キムネコウヨウジャクの巣が、人間のお母さんのおなかの形とにているのか。どうして、キムネコウヨウジャクは、こんな形の巣をつくるようになったのか……この疑問は、ぼくに恐竜から鳥への進化をかんがえさせる、きっかけになりました。そしてそれは、進化のふしぎの扉をあける、秘密のカギだったのです。





パラバサウルス

コタサウルス

クリオロフォサウルス

ディロフォサウルス

スタウロコサウルス

エオドロマエウス

スケリドサウルス

レトサウルス

ヘテロドントサウルス

## 恐竜と鳥

むかしむかし、地球上には恐竜はいましたが、鳥はいませんでした。  
 今、鳥はいますが、恐竜は絶滅してしまい、いません。  
 鳥は、恐竜から進化したといわれています。  
 恐竜も鳥も、巣をつくり、卵をうみ、子どもを育てます。  
 巣や卵と、子育てのちがいをしらべれば、なぜ恐竜が絶滅し、  
 鳥が生きのこったのかがわかるのでは、とぼくはかんがえました。



プッポウソウ

アホウドリ

インドトキコウ

カケス



アカハラ



トビ



オオフラミンゴ

ユリカモメ

フキナガシ  
オウチュウ

ニシツノメドリ

アオサギ

ツバメ

ヤドリギ  
ツグミ

アカガシラ  
エボシドリ

アンナ  
ハチドリ

ニシ  
フウキンチョウ

オオアカゲラ

カナダヅル

シジュウカラ  
ハシビロコウ

ホロホロチョウ

カナダガン

ベニ  
ヘラサギ

クラハシ  
コウ

エジプト  
ガン

ハイイロペリカン

モモイロ  
インコ

セキショク  
ヤケイ

ヒゲ  
ペンギン

メジロ

スズメ

コジュケイ

インカ  
アジサシ

ハシブト  
オオイシチドリ

タカハ

アカハラサギ

ヨトカ

フクロウ

キシキレイ

ナンヨウ  
クイナ

アオバネワライ  
カワセミ

ナゲキバト

ダイシャクシギ

オオハシ

アカハラサギ

ヨトカ

フクロウ

シロムネオオハシ

オバシギダチョウ

シロムネオオハシ

# 恐竜の巣を想像してみよう

マイアサウラなど、大きな恐竜の巣の化石はたくさん見つっています。  
卵をうむ場所が、巣です。



こんなふうに  
卵をうんだでしょう



卵は栄養があるので、きっと、卵をねらう敵もいたことでしょう。  
どんな親も、自分のたいせつな卵を守ろうとしたはずです。



子どもを  
守る



にげる～

でも、あいてが自分より大きくて強い恐竜だったら、卵だけでなく自分も食べられてしまいます。  
小さな恐竜は、敵に見つかりにくいやぶの中や、  
水辺、木の上などに巣をつくり、卵をうんだのではないのでしょうか。



ここなら  
あんしん

残念ながら、小さな恐竜の巣の化石は、なかなか見つかりません。  
そこで、おなじような場所に巣をつくる、今も生きている鳥から、かんがえてみましょう。